

絵本だより冬号

親子で読みたいおすすめ絵本を年齢別に紹介します。参考にしてみてください

0

さい

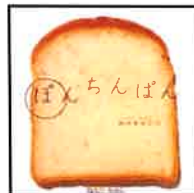
赤ちゃんは、形がはっきりした鮮やかな色合いの絵本や写実的、動きのある絵本を。ぜひ、膝の上に抱っこして読んであげてください。絵本の中身はもちろんのこと、読む人の声やふれあいに安らぎ、楽しい気持ちになります。



1

さい

1歳を過ぎると、少しずつ身のまわりのことに興味を持ち始めます。動物や食べ物がでてくる絵本、身近なものが描かれていてわかりやすい文章の絵本を。また、少しずつ言葉が出てくる頃ですので、リズムのある絵本をお勧めします。



2

さい

2歳になる頃には、食べ物、のりもの、虫や生き物の絵本を。ことばや絵のひとつひとつが心に届くようにじっくり絵を見せながら読んであげましょう。



3

さい

3歳になると、短めのお話を理解し、主人公の気持ちに共感できるようになります。少しずつストーリーが楽しめる絵本を。子どもがすんなりと絵本の世界に入るようゆっくりと語るように読み聞かせましょう。



45

さい

4, 5歳になる頃には絵本からさまざまなことを学んだり、長めのお話を楽しんだりできるようになります。自分で読めたり、ストーリーがおもしろい絵本を。一気に読み聞かせるのが難しい場合は、数日にかけて読んであげましょう。ユーモアたっぷりの絵本や少しこわい絵本もお勧めです。



絵本を読んでもらうことは、子どもにとって楽しい時間であると同時に親と子の気持ちが自然と寄り添うことができる時間でもあります。「絵本読んで！」とせがまれる時間もそう長く続く物ではなく、「めんどくさいな」・・・そんな風に思っていた10分は、子どもが大きくなって振り返るとかけがえのない宝物のような時間です。家庭での読み方に決まりはありません。気負う必要もなく、各家庭のペースで毎日だけでなく短時間続けていきましょう。同じページをずっと見たり、違うページをめくったりする場合は、子どものペースに付き合ってあげましょう。絵本に集中できない時は、無理強いをせず、また別の機会に読んであげてください。ぜひ、親子のほっこりタイム楽しんでみて下さいね！